

深谷市 平成22年春(4月)の事業仕分け実施結果

資料 1

番号	事業名	担当課名	仕分け対象経費(千円)	事業内容	仕分け結果	評価の内訳・とりまとめコメント
1	表彰・式典事業	秘書室	1,019	市政に対して貢献または善行のあった方を対象に式典を開催し感謝状、表彰状、記念品を贈る事業です。	現状	「現状」3人、「要改善」が2人となり、全体では「現状」とする評価となった。 「現状」としたものは、これまでに飲食、懇親会などを見直してきたことは評価できる、内容から民間委託はあまりなじまない、多くの市民に感謝の意と敬意を表するため実施すべき、行わない場合は励みが薄れたり市の姿勢が問われることが想定される、表彰基準を見直してもよいと思うが、貢献者の把握が難しくなる面もあるなどのコメントがあった。 「要改善」としたものは、多くの市民が表彰されるよう対象者の拡大や表彰基準の見直しについてのコメント、記念品の見直し、同日に実施することや日数を短縮しての実施などの改善を求めるものがあった。
2	新市5周年記念式典事業	秘書室	4,411	深谷市は、平成23年1月1日をもって、旧1市3町の合併により新市が誕生して満5周年を迎えます。これを記念し、市政功労者表彰式を兼ねた「新市誕生5周年記念式典」を開催する事業です。	不要	全員一致で「不要」との評価となった。 合併して間もなく事業効果が見えない、予算をかけずに実施することが可能ではないか、広報や冠事業によるPRの方が安価で効果は大きいのではないかと、市民全員で祝う事業であるが市民全員へのPRができる事業内容ではない、開催の目的が明確でない、対象範囲を再考し経費をおさえた形を検討すべき、などのコメントがあった。
3	渋沢栄一翁顕彰事業(生誕170周年記念講演経費)	政策推進課	2,076	平成22年が郷土の偉人である渋沢栄一翁の生誕170周年にあたることから、例年実施している顕彰事業に加え、外部講師を招致して記念講演会の開催等をする事業です。	要改善	「要改善」3人、「不要」1人、「現状」1人となり、全体では「要改善」との評価となった。 記念講演の必要性についての疑問や、民間と一緒に顕彰すべき、事業を継続していくことが目的になっているのではないかと、記念品についての検討が必要、などのコメントがあった。 「不要」としたものは、170周年でなく200周年に大規模に行うべきではないかとするコメント、「現状」と評価するものでは、事業の必要性のアピール、郷土の偉人「渋沢栄一翁」の功績を広く伝えるために講演会は良い機会、一般市民が対象で参加が自由な部分が良いとするものがあった。
4	新型インフルエンザ臨時対策事業	危機管理課	3,592	新型インフルエンザの流行に備え、平成21年度に各公共施設に配備した自動手指消毒器用消毒液カートリッジを補充すること、また新型インフルエンザ対策の啓発を図るため、チラシを作成し、広報折込にて毎戸配布する事業です。	不要	「不要」3人、「現状」2人となり、全体では「不要」との評価となった。 現時点においては十分な備蓄があると考えられ補充は必要ない、消費期限等を考えると追加で補充をしても期限が来れば廃棄する必要が出てしまう、拡大見込みがあった場合に補正予算又は予備費での対応が可能、PRは広報等で対応が可能でチラシ代は不必要、などのコメントがあった。 「現状」としたものは、不測の事態に備えることや使用期限から必要性の検討を継続すべき、見通しが立てにくい事業であることから、現在のように最低限、緊急対応ができる体制を整えておくことが良いとするコメントがあった。

深谷市 平成22年春(4月)の事業仕分け実施結果

資料 1

番号	事業名	担当課名	仕分け対象経費(千円)	事業内容	仕分け結果	評価の内訳・とりまとめコメント
5	高齢者入院時負担軽減支援事業	保険年金課	4,000	後期高齢者医療被保険者(75歳以上の方及び65歳以上で一定の障害があり後期高齢者医療制度に加入した方)で、非課税世帯の方を対象に31日以上入院した場合、申請により2万円支給する事業です。	不要	「不要」4人、「要改善」1人となり、全体では「不要」との評価となった。 実施期間を時限的なものと想定していることについて、事業成果への疑問と補助金を受ける者とそうでない者との不公平が生じるとのコメント、他に高齢者支援の優先度の高い事業がある、既存の高額療養費等の制度で対応可能ではないか、補助金は一度制度化するとスクラップするのは難しい、などのコメントがあった。 「要改善」としたものでは、2年目以降の実施の必要性の検討、年度始めに遡って支給対象者の要件とすることを評価するもの、年度をまたいでの交付要件の研究に関するコメントなどがあった。
6	地球温暖化対策事業(太陽光発電システム設置費補助金)	環境課	18,000	地球温暖化の防止を目的とし、発電を行う時に温室効果ガスを発生しない住宅用太陽光発電システムの普及及び市民の環境意識の高揚を図るために、システム設置者に補助金(1kWあたり5万円・上限20万円)を交付する事業です。	要改善	「要改善」2人、「現状」2人、「国県」1人となり、同数のため再投票を行った結果、「要改善」との評価となった。 申込者が多く早期に予算枠まで達する状況に対して、多くの評価者から、補助単価の見直しや、国や県との連携など、多くの市民(申請者全て)に補助がいきわたる方策の検討を求めるコメントがあった。 「現状」としたものでは、継続されている補助制度で急に打ち切れない、廃止の場合は十分な住民周知等の準備をすること、事業を拡充して実施すべき、などのコメント、「国県」としたものでは、太陽光発電は良いことだが設置費用が高いため他の方法によるCO ₂ 削減・温暖化防止対策の方が普及は広がるのではないかと、太陽光の推進は国県に実施してもらおうのではないかなどのコメントがあった。
7	敬老祝金支給事業	長寿福祉課	33,663	市民の長寿を祝い、高齢者に祝金を贈る事業です。 【支給金額】 77歳・・・10,000円 88歳・・・20,000円 99歳・・・30,000円	不要	「不要」3人、「要改善」1人、「現状」1人となり、全体では「不要」との評価となった。 「不要」としたものでは、祝金が高齢者の福祉充実には直接結びつかない、現金を渡すことが長寿を祝うことではない、高齢者を対象とした他の施策にまわした方がいい、11年に一度の祝金よりこの予算で全ての高齢者を対象とした福祉事業の充実をはかる等、実施していない他市の状況も調査し違う事業への展開を考えてほしい、などのコメントがあった。 「要改善」としたものでは、いきなり廃止することは厳しいが、公平な支給にするため、支給金額や支給方法について見直すよう求めるコメント、「現状」としたものでは、敬老を祝う目的が明確で良いというものがあった。

深谷市 平成22年春(4月)の事業仕分け実施結果

資料 1

番号	事業名	担当課名	仕分け対象経費(千円)	事業内容	仕分け結果	評価の内訳・とりまとめコメント
8	こども医療費支給事業(拡大分)	児童課	93,081	0歳から小学校修了前の子どもを対象として、その子どもが各種医療保険で診療を受けた医療費の一部負担金を助成する事業です。 仕分けの対象となるのは対象範囲を中学生まで広げることと窓口払いの廃止による、こども医療費の増加に対応する拡大分です。	現状	「現状」2人、「国県」2人、「要改善」1人となり、同数のため再投票を行ったところ「現状」との評価となった。 「現状」と評価したものでは、子を持つ親にはありがたい事業だ、近隣の状況も窓口廃止が多くこの事業を進めていくことは時代のニーズに合っている、現状の中での深谷市の対応はやむを得ない、とのコメントがあった。 「国県」としたものでは、こども医療費は広域的に取り組むべき事業、対象の拡大は市の財政負担が大きすぎる、国がこども手当を拡大している中でこのタイミングでの対象拡大は必要ないとのコメント、「要改善」としたものでは、「窓口払い廃止」、「中学生までの拡大」など一度に事業を拡大しすぎて段階的な拡大が良い、とのコメントがあった。
9	予防接種事業(高齢者インフルエンザ)	保健センター	84,000	予防接種法に基づく高齢者を対象とした季節性インフルエンザ予防接種の個別接種について、医療機関に接種に係る業務を委託するものです。	要改善	全員一致で「要改善」との評価となった。 全額公費ではなく、少なからず自己負担を求めるよう改善を求めるコメントが中心的で、その他、所得制限を設けることや、行政負担を一部軽減することでインフルエンザ接種以外の充実が図れるのではないかなどのコメントがあった。
10	健康なまちづくり推進事業(コールセンター設置)	保健センター	6,420	急病時の対処方法や医療機関に関する情報等、健康・医療に関する市民の電話相談に対して医師、看護師等の専門職が24時間365日対応する業務を委託するものです。	要改善	「要改善」2人、「現状」2人、「不要」1人となり、同数のため再投票を行ったところ「要改善」との評価となった。 「要改善」としたものでは、状況により相談時間の見直しの検討、重症でなければ見直しの余地はあるなど、受付時間の見直しを求めるコメントが多かった。 「現状」としたのもでも、新規事業として有効とする一方、利用人数や相談内容の分析、利用件数の状況から継続の必要性の検討など改善に関係するコメントがあった。 「不要」としたものでは、県事業での対応が可能、市の規模や面積が大きいと設置する意義もあるが現在の深谷市では必要ない、などのコメントがあった。
11	健康なまちづくり推進事業(笑いと健康講演会開催)	保健センター	4,423	笑いが健康に良いとの関係に着目し、日常生活の中に「笑い」を取り入れながら健康増進を図れるよう、健康落語・医師による講演・漫才等の構成で講演会を開催する事業です。	不要	全員一致で「不要」との評価となった。 芸人を見に行くだけのイベント事業に思える、実施方法の再検討、講演会などは小規模のものをきめ細かく行う方が満足度の高いものになる、人気は高いが当初の目的は達成している、同様な事業を実施している部所に移管しても良い、健康づくりは自己管理が基本で広報等で健康づくりに関する記事を出せば良いのではないかなど、などのコメントがあった。

深谷市 平成22年春(4月)の事業仕分け実施結果

資料 1

番号	事業名	担当課名	仕分け対象経費(千円)	事業内容	仕分け結果	評価の内訳・とりまとめコメント
12	花植木公設地方卸売市場管理事業	農業振興課	4,645	深谷市花植木公設市場については、運営は、(株)埼玉県花植木流通センターと寄居花卉園芸協同組合の2社により行われていますが、市では施設の設置後35年を経過していることから利用者の安全性や快適性向上を図るため修繕等を行うための事業です。	民間	「民間」4人、「要改善」1人となり、全体では「民間」との評価になった。 施設の管理は運営者において行っていただくべき内容と考えるとのコメントが多くあった。ほかに今後民間への払下げを念頭におくこと、トイレ部分は緑の王国を訪れる市民も使うので市の管理の必要性がある、などのコメントがあった。 「要改善」としたものでは、緑の王国利用者が使用する部分の工事は必要だが、測量分筆の費用は運営者で負担すべきとのコメントがあった。
13	北部地域活性化推進事業	農業振興課	2,634	深谷市北部地域は、全国的にも優良土壌に恵まれ、野菜栽培を中心とし、当市の農業を牽引してきた地域です。こうした地域の活性化のために、「深谷ねぎ」や、全国的偉人である、渋沢栄一翁など地域の特色を生かした、イベント等を実施するための事業です。おもな事業費はイベントを実施する協議会への補助金です。	不要	「不要」が2人、「民間」が1人、「要改善」が1人、「現状」が1人と分かれたが、全体では「不要」との評価となった。 「不要」としたものでは、補助金の目的が不明確、協議会のあり方の検討、栄一翁の顕彰の趣旨が希薄、財政難の中新たな祭りの立ち上げへの疑問、産業祭との住み分け又は産業祭の一層の効率的な活性化を目指すべきなどのコメントがあった。 「民間」としたものでは、地域活性化のため特色ある取組み(イベント)だが、継続的な実施に市の補助金を必要としない仕組みや、協議会の自主財源の確保策など、次のステップとして民間の力での取組みを求めたいとするコメントがあった。 「要改善」としたものでは、協議会の構成員の商工会や地元自治会、事業者等のどこが今後牽引していくのか明確ではない、協議会の主体的な運営となるよう求めるコメントがあった。 「現状」としたものでは、将来的には民間に任せべきだが現時点では改善すべき点は改善しさらなる事業の活性化に期待したい、予算額を約半分に圧縮したことは評価できるとのコメントがあった。
14	道の駅管理事業	商工振興課	169,880	道の駅おかべ、はなぞのの慢性的な駐車場不足を解消し、物産館内の販売スペースを拡張することにより地域振興を図るための事業です。 ・道の駅おかべの物産館リニューアル工事費、及び東側に建設する駐車場用地の買収費・工事費等。 ・道の駅はなぞのの物産館リニューアル工事費、及び北側に建設する駐車場用地の賃借料・工事費等。	要改善	「要改善」が3人、「現状」が2人となり、全体では「要改善」との評価となった。 駐車場用地について地権者との協議等も進んでいるため計画通り実施することが望ましいが、リニューアルは指定管理者においての実施も考慮すべき、利益を市へ還元できるよう指定管理の内容についても見直しをしていく必要がある、などのコメントがあった。 「現状」としたものでは、関係機関や地権者との協議が進められており概ね了解が得られている状況とする一方で、利用状況や人気度から事業の必要性は感じるが市の役割や収支等については今後も議論していくことが必要、事業内容について精査し一般財源の持ち出しが無いよう努力を求めるコメントがあった。

深谷市 平成22年春(4月)の事業仕分け実施結果

資料 1

番号	事業名	担当課名	仕分け対象経費(千円)	事業内容	仕分け結果	評価の内訳・とりまとめコメント
15	西通り線整備事業(協議会資料作成委託料)	道路河川課	1,000	西通り線は、昭和26年に都市計画決定した道路です。 市街地西部(旧深谷市)の道路交通の円滑化と安全確保のため、戸森地内の国道17号線深谷バイパスから国道17号線を経由し、柏合地内の県道深谷寄居線に至る全長4,030mの道路整備について、西通り線まちづくり協議会を設置し、住民との意見交換等を行うための資料作成を委託するものです。	要改善	「要改善」が3人、「不要」が1人、「現状」が1人となり、全体では「要改善」との評価となった。 「要改善」としたものでは、資料作成よりも西通り線整備のための合意形成(可否を含む)に重点を置いて協議会を設置していくべき、との予算の使い道や必要性に検討を求めるコメントが多かった。 「不要」としたものでは、地元の意見、協議会の方向性が見えない中で、姿勢を示す目的での資料作成は疑問とし、地元合意が先ではないかとするもの、「現状」としたものでは、5月に協議会が設立されることが決定されており、そのための資料作成は必要とのコメントがあった。
16	市営住宅維持管理事業(長寿命化計画策定委託料)	施設営繕課	3,200	築後30年以上の公営住宅について、安全で快適な住まいを長きにわたって確保するため、予防的観点から修繕や改善の計画策定を委託する事業です。	現状	全員一致で「現状」との評価となった。 先々までの計画的な修繕等は必要、昭和46～48年建築のRC造を対象としていることや耐震診断も済んでいる状況の中で本計画策定により地域住宅交付金で修繕費の45%が交付されることは、市の財政面から本委託料に対する見返りが期待できる、など地域住宅交付金の対象事業とするために計画書の作成は必要とするコメントがあった。
17	住宅耐震化促進事業	開発指導課	10,022	平成21年度から3か年の事業として、市内における既存木造住宅の耐震診断、耐震改修及び耐震上脆弱な住宅を解体し、新築する場合に要する費用の一部を補助する事業です。	現状	「現状」が4人、「不要」が1となり、「現状」との評価となった。 PRを強化し拡大すべき、申請件数が少ないので今後は条件を見直すなど耐震化を進めるべき、現状の計画通り事業を進めていただきたい、などのコメントがあった。 「不要」としたものでは、耐震診断の結果「危険」と診断されても、改修費を工面できない方には不安をおおることになるとのコメントがあった。
18	盛年式開催事業	生涯学習課	2,872	還暦を迎えた方を祝いねぎらい、家庭・地域社会の一員としてより充実した生活をめざす節目となるように、市内在住の60歳の方を対象として、式典やアトラクションを行う事業です。	不要	全員一致で「不要」との評価となった。 社会参加意識の高揚を図り積極的に地域活動に参加してもらうという目的を達成していない、事業効果が認められない、他の市町村の動向との比較や参加率が低迷の改善などを求めるコメント、ほかに同じ社会参加意識高揚の目的で市民大学が行われていることから、この事業を廃止し市民大学等の事業に力を注ぐべき、などのコメントがあった。

深谷市 平成22年春(4月)の事業仕分け実施結果

資料 1

番号	事業名	担当課名	仕分け対象 経費(千円)	事業内容	仕分け 結果	評価の内訳・とりまとめコメント
19	文化財施設管理活用事業(中の家修繕設計委託料、旧煉瓦製造施設現況調査委託料)	生涯学習課	1,100	誠之堂、清風亭及び旧洪沢邸「中の家」等、市内の文化施設の保存及び活用のための事業です。仕分けの対象とするのは、「中の家」の緊急修繕を行うための設計委託料と旧煉瓦製造施設の現況調査委託料についてです。	現状	<p>全員一致で「現状」との評価となった。</p> <p>市指定文化財「中の家」、国の重要文化財「旧煉瓦製造施設」はどちらも大切な市民の財産で、現況調査委託料は必要、観光資源の少ない当市にとっても貴重な存在で予算の増額をしても早く一般公開に向け整備をされたい、文化財の保存は市が負うべきものであるなどのコメントのほか、両施設の保存活用は必要だが、現在の財政状況では文化財管理センターの統廃合を含めて選択と集中を考える必要があると併せて改善を求めるものがあった。</p>
20	スポーツ教室・イベント開催事業(マラソン大会実行委員会補助金)	スポーツ振興課	5,700	「ふかやシティハーフマラソン」を開催する事業です。大会運営経費は、市補助金、参加者からの参加費、協賛企業からの協賛金で成り立っていますが、仕分け対象となるのは、この市補助金についてです。	現状	<p>「現状」が3人、「要改善」が2人となり、全体では「現状」との評価となった。</p> <p>「現状」としたものでは、市内外から年々多くの参加者が集まる深谷を代表するイベントの1つとのコメントのほか、今後はサービスは低下させないように運営方法を検討されたい、参加者の増加が予想されるが適切な運営と事業の一層の充実に努められたい、また企業の協賛への努力もさらに力を入れられたい、などの併せて改善を求めるものがあった。</p> <p>「要改善」とするものでは、市のアピールとしては成功しているが、市民マラソンという位置付けなので市民参加を中心に考えたマラソン大会を実行すべき、エントリー枠が限界ということであれば、大会参加費を値上げするなど対応策が必要、などのコメントがあった。</p>
		合計	455,738		現状6 要改善6 不要7 民間1	